

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: support_apl@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-133A/JA	Rev.	第1版
題名	M16C/Tinyシリーズ フラッシュメモリ版 標準シリアル入出力モードエントリ端子の注意事項		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	M16C/26 グループ、M16C/26A グループ、 M16C/28 グループ、M16C/29 グループ	対象ロット等	関連資料	-	

1. 注意事項

フラッシュメモリ版の標準シリアル入出力モードのエントリ時、CNVss 端子が“H”で $\overline{\text{RESET}}$ 端子が“L”の間、入出力ポートから不定値が出力されることがあります。

ハードウェアマニュアル^(注1)において、「P8_6($\overline{\text{CE}}$)端子または P8_5($\overline{\text{RP}}$)端子のいずれかを設定してください」と記載していますが、P8_5($\overline{\text{RP}}$)端子のみ設定した場合、下記の条件でポートから不定値が出力されることがあります。

- ・ P8_6($\overline{\text{CE}}$)端子 = “L”
- ・ P1_6 端子 = “L”

不定値を出力する端子は、以下の端子です。

P6_4、P6_6、P7_2~P7_7、P10_0~P10_7

(注1) M16C/26 ハードウェアマニュアル rev.1.11 表 17.7 端子の機能説明(フラッシュメモリ標準シリアル入出力モード) および
M16C/28 ハードウェアマニュアル rev.0.60 表 19.9.1 端子の機能説明(フラッシュメモリ標準シリアル入出力モード)にて
「P8_6($\overline{\text{CE}}$)端子または P8_5($\overline{\text{RP}}$)端子のいずれかを設定してください」と記載しています。

2. 対策

1の注意事項が問題となる場合は、標準シリアル入出力モードのエントリ端子を、以下の設定にしてください。

- ・ P8_6($\overline{\text{CE}}$)端子 = “H” を入力

P8_6($\overline{\text{CE}}$)端子が“L”、または開放されている場合は、P8_5($\overline{\text{RP}}$)端子およびP1_6端子の両方の設定で対策可能です。

その場合、標準シリアル入出力モード時のエントリ端子を、以下の設定にしてください。

- ・ P8_5($\overline{\text{RP}}$)端子 = “L” を入力、および P1_6 端子 = “H” を入力